

オンライン講義の様子



里山保全活動での記念撮影



まつどを元気に！

# まつど地域活躍塾 修了生 日記

今回の市民活動特集号では、地域で活躍したい人などが受講する『まつど地域活躍塾』を修了した人にスポットを当て、現在の活動や活躍塾の魅力についてインタビューしました。

フードバンクでのハロウィンイベント



乳幼児の居場所のおもちゃのメンテナンス



## まつど地域活躍塾とは

- ☐ 松戸をより暮らしやすい街にするために、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの地域で団体活動したい人のための塾です。
- ☐ 1年を通して、ゲストの講演を聴いたり、関心のある分野で実地体験をしたり、塾生同士のワークショップを行ったりします。
- ☐ 「何か」を始めたい人や自分の実現したいことをカタチにしたい人など、これまで多くの人が受講しています。

松戸市協働のまちづくり公式キャラクター  
芽でるくん・芽るるちゃん







(3期生)  
南部 朗さん

## 新たなライフワークを見つけました

活躍塾修了後はどんな活動をしていますか

### 「関さんの森を育む会」の活動に参加しています

屋敷林や梅林から成る「関さんの森」の維持管理のため、草刈りや木の剪定のボランティアを行っています。活動に参加する仲間と意見を出し合い、試行錯誤しながら森の環境を整えています。

#### —入塾したきっかけは

活躍塾受講の前年に仕事を退職しました。退職後は趣味に没頭するわけでもなく、かといって仕事を探すわけでもなく「毎日中途半端な時間を過ごしているな」と自分でも感じていました。そんな中、新聞で活躍塾の記事を見て、何となく受講してみようかなと思ったのがきっかけです。

#### —活躍塾で印象に残っていることは

講義を聞いて、地域で起きている課題について知ることができました。働いているときは家と職場の往復ばかりで、毎日帰りも夜遅く、地域のことは興味すら持っていませんでした。40年も住んでいるのに、松戸について何も知らなかったことを実感しました。また、ワークショップでは、活躍塾の同期の考え方に刺激をもらい、とても良い経験でした。

#### —受講して変わったことは

活動体験で参加した「関さんの森を育む会」の活動は、今では私のライフワークになっています。「関さんの森」はとても居心地が良く、サウナじゃないけど行くと身体が整っている感じ(笑)。月に7日程度、自分のペースで参加しています。

いろいろな人が自由に活動していますが、森に生えている植物や、子どもたちが遊びに来られる場所を守りたいという目的が一緒なの

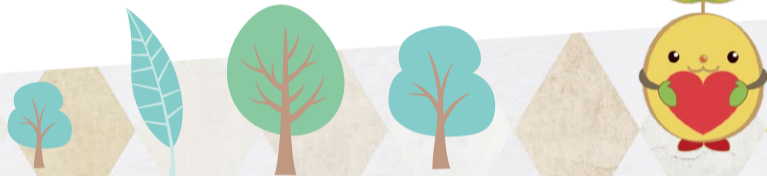
で、会社とは違って上下関係が無く、横のつながりができるのも自分には合っているのだと思います。作業に必要な道具をフリマアプリで探したり、自分で作ったりして、日常にも楽しみが広がっています。

#### —活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

「何かやらなきゃ」などと気負わなくて良いと思います。松戸で一緒に暮らす人たちと話ができる、良い機会だと考えてほしいです。参加者同士、自然と打ち解けられるように工夫されたカリキュラムなので、参加者同士が本音で話し合うことができます。興味があるならぜひ受講してほしいです。



梅の木を剪定しています



(4期生)  
日置 ひとみさん

## 活動を後押ししてくれる仲間と出会えました

活躍塾修了後はどんな活動をしていますか

### 「保護者のための居場所を作りたい」という新たな目標実現に向けた活動を始めています

きっかけは、活躍塾の仲間と出会えたこと。身近に仲間ができたことで、前向きに取り組めるモチベーションへとつながっています。

#### —入塾したきっかけ

入塾する以前から、発達障害や不登校などの子育てに悩みを持つ保護者のための情報交換や仲間づくりの場「あんだんて」、また、4,000個ほどある白木のつみきを使った遊びと造形を通じて、子どもの発達と型にとらわれないクリエイティブな心を育てる「つみきと造形Neiro」の両団体代表として活動していました。活動する中で、地域で活動している人ともっと知り合いになりたいと思い応募しました。

#### —活躍塾で印象に残っていることは

市民活動を継続していくコツは、「顔見知りを作ること」。そこにたどり着いたことです。あの人が頑張っているから私も、と励みになったり、一緒に何かやりましょう！とコラボレーションしたり、重なり合いの化学反応みたいなものが起きてどんどん楽しくなりました。

#### —受講して変わったことは

目標を後押ししてくれる仲間に出会えたことです。講座に参加する保護者から育児の相談を受けることが多く、育児経験者同士で情報を交換したいという新たなニーズに気がきました。そこから、いつか保護者のための居場所を作りたいという思いはありましたが、「日

置さんならできるよ」と後押ししてくれる仲間に出会えたことで明確な目標となりました。

また、「あんだんて」の活動では、市から市民活動助成金を受けて、メンバーの相談支援のスキルアップにも力を入れ始めました。保護者に寄り添いながら、子育ての孤立感を無くすことを目標に日々取り組んでいます。



「あんだんて」おしゃべり会

#### —活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

活躍塾を通じて地元の知り合いが増えて、活動の幅が広がりました。何かやってみたいなと思っている人は、ぜひ参加してみてください。同じような思いを持った受講生が集まっているので、きっと刺激し合える仲間と出会えると思いますよ。

#### 市民活動助成金とは

地域の課題解決のために行われる社会貢献活動を促進するために実施する、新たな活動の立ち上げや既存の活動の発展を対象とした市の助成金です。詳細は市ホームページをご覧ください。



市ホームページ



# 「ども！」と挨拶できる人が 増えました

活躍塾終了後はどんな活動をしていますか

## 「助っ人稼業本田式」という活動を始めています

人を雇うほどではないけれど、一時的に人手が欲しい！そんなときのサポート活動を「本田式」と名付けて有償ボランティアとして活動しています。例えば個人営業の方のイベントスタッフや、個人宅の網戸の張り替えや清掃など、活動は多岐にわたります。有償で得た一部を寄付し、本田式に頼むと他の誰かの役にも立つというコンセプトもあります。

### —入塾したきっかけは

私は以前、松戸市内の会社で働いていたのですが、子育てとの両立が難しくなり、やりがいのある仕事はあっても、ただのライフワーク（生活のためだけに働く）になっていることに気付きました。ライフワーク（子育てとやりがいのある仕事を追い求める活動）に挑戦してみたいと思い始めたころ、緊急事態宣言が重なり2カ月ほど休職することに。仕事としてではなく、身近な人のために何かできることをしようと思えました。そのために松戸にはどんな人がいて、どんな街なのか、もっと自分の住んでいる街のことを知りたいと思ったのが入塾のきっかけです。

### —活躍塾で印象に残っていることは

受講生同士のディスカッションです。年代も経歴も幅広く多様な意見が出るのですが、誰も否定することなく、個々の意見を尊重する中でどういった解決方法があるのか議論しました。会社とはまた違う、立場や年齢・性別に関係なく、一個人として素直に自分の言葉で述べられる場はなかなか無いと思います。フラットな関係性になるよう事務局が雰囲気づくりを工夫したおかげですね。学生以来、この年代になってもディスカッションができるのは贅沢なことですし、価値があると思います。

### —仕事との両立はどうでしたか

講義はオンラインが中心だったので、会場までの移動時間も短縮できて仕事と両立しやすかったです。どうしても出席できないときは、録画された講義を後日視聴できたので助かりました。



(5期生)  
ほんだ みさこ  
本田 美紀子さん



美術作家の制作助手



### —受講して変わったことは

仕事や子育てを通じて、必要な情報はキャッチできていると思っていましたが、活躍塾を受講したことで、私が知っていたのはほんの一部だったのだと衝撃を受けました。これは氾濫する情報に埋もれて、関心があるものさえも見えなくなっていたのだと思います。人付き合いがあっても「情報難民」になり得るのだと危機感を持ったのを機に、「本田式」で関わる人々にはできるだけ情報を届けたいと思っています。例えば困りごとを相談されたときには一緒に調べたり、「ここに連絡すれば教えてくれますよ」と伝えたりするなど、ちょっとしたコミュニケーションを取れるように心掛けています。

### —活躍塾へ入塾を考えている人へ一言

活躍塾では自分が生きる街で誰がどんな活動をしているのか知ることができるようになるのはもちろん、自分が今どんなことに興味があるのか改めて考えるきっかけにもなると思います。

私は活躍塾を通して、街中で気軽に挨拶できる関係性の人が増え、「私はこの街に住んでいる！」という実感とうれしさとほんの少し緊張感もあり（笑）良い機会となりました。



玄関のサッシ掃除のお手伝い

## あなたも市民活動を始めてみませんか

あなたも松戸で何かやってみませんか。  
身近な地域で何かをやりたいと思ったらまずは「サポセン」へ！

まつど市民活動サポートセンター（サポセン）は、市民活動を広げ、松戸をより暮らしやすい街にすることを目的とした施設です。

サポセンには、市内でさまざまな活動をしている団体の情報があります。具体的にやりたいことがある方、まだ漠然と「何かを始めたいな」と思っている方、情報収集だけでも大歓迎です。じっくりと相談したい方には、人と人、団体、場所などをつなぐコーディネーターが常駐していますので、ぜひ一度お越しください。



まつど市民活動  
サポートセンター

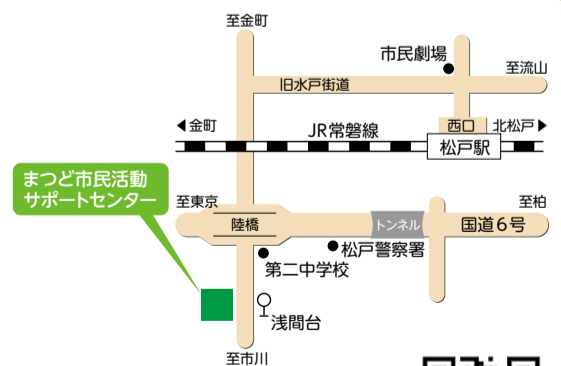
所在地 上矢切299の1（総合福祉会館内）

アクセス 松戸駅西口から、京成バス1番乗り場「市川駅」行きで「浅間台」下車

開館時間 月～土曜9時～21時、日曜9時～17時

休館日 第1・3水曜、年末年始

問同センター ☎365-5522、☎365-5636、✉hai\_saposen@matsudo-sc.com



同センター  
ホームページ



## まつど地域活躍塾 第6期生を募集します 要申込

受講期間 6月21日(火)～令和5年2月21日(火)

会場 まつど市民活動サポートセンター、Zoomによるオンライン講義、  
実地体験の体験先

### 内容

- 市内で活躍する人の活動についての講義
- 市内の市民活動団体・NPO・町会自治会などでの実地体験
- 活躍塾OB・OGを交えた交流会

※実地体験のみ参加を希望する場合は、まつど市民活動サポートセンターにお問い合わせください。

対象 地域で活動する意思のある市内在住・在勤・在学の18歳以上

※原則として、インターネットを利用できるパソコン・通信環境を持つ人。通信環境に不安がある場合は個別にサポートします。

定員 40人（申し込み多数の場合は書類選考）

受講料 5,000円（途中で退塾した場合は、払い戻しは行いません）

Ⓗ6月15日(水)〔必着〕までに、市ホームページに掲載の応募フォームまたはEメール、郵送で申込書とレポート「まつど地域活躍塾で学び、実践したいこと（400字以内）」を〒271-0094上矢切299の1 まつど市民活動サポートセンター  
✉hai\_saposen@matsudo-sc.com（☎365-5522）へ

※申込書は同センターで配布または同センターホームページ、市ホームページからダウンロードできます。市ホームページ掲載の応募フォームで申し込む場合は不要。



ワークショップの様子



市ホームページ

### 講義日程

実施日（予定）	コース	内容
5/24(火)	公開講演会	人生100年時代の人生計画と幸福について
6/21(火)	入塾式・オリエンテーション	活動はじめに聞いておきたい！松戸の全体像を学ぶ
7/ 2(土)	講義	カードゲームを通してSDGsの本質を知り・体験する～2030 SDGsカードゲーム～
7/ 5(火)	講義（オンライン）	活躍塾OB・OGに聞く！地域で自分らしく活躍する秘訣、松戸市協働のまちづくりについて
7/19(火)		子育て支援活動に地域のさまざまな人が関わる、事例と効果
8/ 6(土)	実地体験	実地体験オリエンテーション
8/7(日)～11/30(火)		実地体験期間
8/30(火)	ワークショップ	自分の「やりたい」を見つけるワークショップ
9/20(火)	活躍塾OB・OG交流会	人×地域資源で「社会的孤立」の解消へ～超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」～
10/ 4(火)	講義（オンライン）	高齢者が元気に地域で過ごすための多様な資源やつながりづくり
10/18(火)		外国人住民も地域社会の構成員～ともに学んで暮らす多文化共生～
11/ 1(火)		「心のバリアフリー」という言葉が必要のない社会の実現に向けて
11/22(火)	ワークショップ	地域課題の見つけ方とアプローチの方法を学ぶ
12/10(土)	任意参加イベント	新しい暮らしスタイルを生み出す対話イベント まつどみらいカイギ2022
12/20(火)	講義（オンライン）	つながりづらい人との出会いを生み出す居場所づくり
1/31(火)	ワークショップ	自分×地域の課題で実現したい未来を考える
2/21(火)	修了式	修了式

広告